

令和3年度事業計画

【基本計画】

内閣府の政府経済見通しでは、令和3年度は、総合経済対策の円滑かつ着実な実施により、年度中には経済がコロナ前の水準を回復することが見込まれるとし、労働・雇用では感染症拡大防止と社会経済活動の両立が図られる中で、雇用環境の持ち直しが続くことに加え、女性や高齢者を中心とした労働参加の拡大もあり、雇用者数は増加するとしています。

また、厚生労働白書では、令和2年に入り、我が国を含め全世界で新型コロナウイルス感染症が広がり、いわゆる「3つの「密」」の回避やソーシャル・ディスタンスの確保が求められるなど、日常生活や働き方も大きく様変わりし、感染症の収束がいまだ見通せない状況の中で、この感染症がもたらす大きな社会の変化が予測されるとしています。

このような社会不安が続く中、当センターにおいても「新しい生活様式」の下で引き続き感染症拡大防止対策を徹底し、センターに対する地域社会の様々な需要に応えるため、更なる会員の増強に取り組み、働く意欲と能力のある高齢者が長年培ってきた知識や経験を活かし活躍できる場として、事業の継続と発展に努めます。

就業においては、コロナ禍の中これまでにない大変厳しい状況が続くと予想されますが、就業開拓創出員を中心に新たな就業先の開拓を積極的に推進し、就業機会の確保や就業率の向上に努めてまいります。

また、「安全は全てに優先する」を基本原則に安全就業対策を最優先課題として、会員一人ひとりの安全意識を一層高め、無事故達成に向け、組織が一丸となって安全就業に取り組んでまいります。

次に、理事長が掲げる今年度のスローガンは、前に学んだことや昔の事柄をもう一度調べたり考えたりして新たな道理や知識を見出す「温故知新」としました。会員皆様が長年培ってきた豊富な経験や知識を活かし、地域の日常生活に密着して多様なニーズに対応可能な地域社会に貢献する魅力あるセンターを目指してまいります。

シルバー人材センターを取り巻く環境は依然厳しい状況が続くものと思われませんが、当センターは、地域に密着し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って活躍できる環境づくりに引き続き取り組み、所沢市をはじめとする関係機関のご支援ご協力を頂き、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、新型コロナウイルス感染症の動向にも留意しつつ、会員、役職員が一体となり連携を強化し、令和3年度の事業を展開してまいります。

【実施計画】

1. 本年度の目標契約高 7億円
2. 本年度の目標就業率 75%
3. 会員活動の充実

☆安全・適正就業の推進

「安全はすべてに優先する」を基本に安全就業パトロールを実施し、会員の就業中の事故や就業途上の交通事故等の防止に向けた対策の強化を図り、会員一人ひとりの安全意識を一層高め、事故の撲滅に努めます。

また、近年の夏の期間に多発する猛暑日の就業について、熱中症対策の更なる周知徹底に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、注意喚起等を周知し感染防止の徹底に努めます。

適正就業では、多くの会員に就業機会を提供できるよう、適正な事業運営に取り組みます。

☆会員の増強

ラッピングバス等の広告媒体の活用や市内で開催されるイベント等に積極的に参加をしてセンターのPR及び入会促進活動を実施し、会員、役職員が一体となって会員増強に取り組みます。

また、新規会員の確保に併せて女性会員の入会促進も推進していきます。

☆就業機会の開拓と就業率の向上

請負契約と派遣契約それぞれの適性に応じた就業開拓を積極的に推進していきます。

一人でも多くの会員が就業できるよう、ワークシェアリングを推進するとともに、就業相談をもとに未就業会員の就業を促進します。

また、会員が持ち合わせた豊かな技能や経験を活かすため、会員データベースを活用し就業機会の拡大と就業率の向上に努めます。

☆広報・ホームページの充実

広報紙「つどいの樹」とホームページは、会員に所沢市シルバー人材センターの現状や活動方針を伝える、極めて重要な手段です。会員の皆様が「おやっ」と手に取りたくなる広報紙、「アクセスしてみようかな」と興味を持っていただけるホームページを提供します。

また、行政や企業・団体、市民の皆様にもセンター・会員活動を知っていただけるよう併せて努めてまいります。

☆地区活動と地域連携

センターには、市の行政区と同じ11の地区組織があり、各地区の地区長及び担当理事で組織する地区長会議を中心に効果的な活動を行います。

会員への情報伝達、会員相互の懇親、会員増強・就業機会開拓の意識向上、公民館活動や自治会活動に積極的な参画交流など、地域との連携を図りながら活発な地区活動を展開します。

☆研修・講習の充実

発注者の様々な就業依頼に応えるため、既存会員に対し各種研修の実施や新入会員への研修会等を行い、会員の資質向上に努めます。

全国的に就業先に向かう途中や帰宅途中の自転車による交通事故が多く発生しており、重篤事故につながることから自転車安全講習会を実施し交通事故防止に努めます。

また、会員の高齢化が進んでいることから、心身の活力の低下を予防するため、フレイル予防教室を展開し、サポーターの増強や会員への周知を図ります。

☆市から受託している指定管理業務

令和元年度から5年間の指定管理業務を受託した「老人憩の家」4荘については、引き続き利用者のニーズに応えられるサービスを提供し、利用者が安心して安全に利用していただけるよう、親切丁寧な対応を実践し、企画力を発揮できる管理運営に努めます。

☆独自事業

地域において根付いてきた営農事業や製麺事業（所沢うどん）、事務所入口で展示販売しているシルバーショップ、各地区で開催される各種のイベント等に積極的に参加を予定しているイベント班等の運営に努め、就業機会の拡大も含め事業を展開します。

☆その他

会員の親睦団体である悠和会は、会員同士の横のつながりに、なくてはならない団体です。

また、みまもりネットワークを推進する一員として会員活動で気づいた地域の情報は、地域の包括支援センターに報告すると同時に地域の自治会組織とも連携を図っていきます。

令和3年度の事業実施にあたり、新型コロナウイルス感染症の拡大がいつ収束するかわからない中、感染症対策を徹底し事業計画の変更も考慮しながら慎重に進めてまいりますので、会員皆様のご理解ご協力をお願い致します。